

# 黒潮

平成20年1月発行

## 第102号

### 和歌山県看護協会会報



高野山（冬）

写真提供 広報委員 八幡春美

## CONTENTS

- 新年のあいさつ ..... 2
- ナース章受章者のことば ..... 3
- トピックス2008 ..... 6
- 保健師のコーナー ..... 7
- 助産師のコーナー ..... 7
- 看護師のコーナー ..... 7
- 私の〇〇 ..... 8
- リレーエッセイ ..... 8
- My Hospital ..... 9
- 日本看護学会「看護管理」 ..... 10
- 和歌山県看護協会の動き ..... 12

会員総数	5,726名
名誉会員	1名
保健師	174名
助産師	181名
看護師	4,563名
准看護師	807名

平成20年1月18日現在

## 新年のごあいさつ

### 社団法人和歌山県看護協会 会長 谷 眞子

新しい年を迎え、おめでとうございます。会員の皆さまには、ますますご清栄にて良き新春をお迎えのことと存じます。昨年は「看護の日・看護週間」中央行事や日本看護学会「看護管理」の開催等全国的な事業の実施に、皆さまのご支援とご協力のお陰でその目的を達することができ、ありがとうございました。

さて、少子高齢化社会において、国は安心・信頼の医療の確保と予防の重視、医療費の適正化の総合的な推進、超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現等の方向を示し、医療制度改革関連法に基づき様々な改革を進められています。今年4月から後期高齢者医療制度やメタボリックシンドローム対策としての特定健診とそれに伴う生活指導や医療機能分化の促進と連携の強化、療養病床の再編、特に療養病床の再編については、介護施設への変換も含め、数値目標を挙げてベッド数を減らす等の施策が進められているところです。4月からの診療報酬の改定にこの改革がどのように反映されるのか、7対1の入院基本料や看護必要度の行方等看護に関する領域の改定が気になるところです。

この度の制度改革では、関連法の附帯事項に示されているように保健師、助産師、看護師のそれぞれの専門性を活かした役割の拡大に高い期待が寄せられています。

保健師には生活習慣病・介護予防活動を、助産師には地域で安心して安全なお産を提供できるための活動を、看護師には、医療の場で安心・信頼できる看護を提供できるよう、フィジカルアセスメント・スキルをもって患者の状態を適切に判断し、早期回復を支援することやそのために必要な他職種との連携、患者が安心して地域で生活できるための連携、看護職と介護職の連携等看護職のリーダーシップが期待されています。

私たち看護職には、これまでの発想を転換し「看護職の役割・機能を強化・拡大すること」に覚悟して取り組むしかないと考えます。

役割・機能の拡大については、21世紀の看護のあり方としてすでに検討されてきたところですが、いよいよその実践が求められ、これまで以上に看護の質と実践能力を高めることが必須と考えます。

日本看護協会として60年の歴史を振り返り、これからの看護協会活動のあり方が示される予定です。これによると、都道府県看護協会としての役割を明確にするとともに、果たす役割も大きくなります。例えば会員教育をみると重点事業に関する内容のみプログラムとし他は都道府県の教育に委ねる方向です。ますます都道府県の格差がでてくるのではと懸念しているところです。認定看護師・認定看護管理者サードレベルの教育も都道府県看護協会で行う方向にあります。この時代の流れのなかで、和歌山県看護協会のあり方をどうするのか、新看護研修センター構想についても、なかなか進んでおりませんが、専門職能団体として、将来に禍根を残すことにはならないと考えます。

今年は子年で干支のトップです。新たな年の出発に際し、「看護の力を強化し県民のニーズに応えよう」をスローガンのもとに、会員力を併せて行動を起こしましょう。

## ナース章を受章して

### 日本赤十字社 和歌山医療センター 石井 裕子



この度、栄誉ある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄と存じます。ご推薦くださいました関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。県知事様から県ナース章の受章を受け、あらためてその責任の重さに身のひきしまる思いと感激でいっぱいでした。

昭和49年日赤和歌山医療センターに採用され、助産師として14年、その後看護師として現在まで臨床の場で勤務させていただきました。振り返って見ますと多くの方に支えられ、励ましを受けながら今日まで頑張ってきたと思っています。

医療看護を取り巻く環境は厳しいものがありますが、看護の質の向上をめざし、患者様に満足していただける看護の提供が出来るよう、日々研鑽を重ね努力したいと考えております。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

### 海南市民病院 稲田 優子



この度、栄誉ある県ナース章を受章し、身に余る光栄に存じております。思いがけない受章は、関係各位の皆様方に推薦して頂いたお陰と感謝申し上げます。

私は昭和45年に和歌山赤十字高等看護学院を卒業後、37年間看護師として働いてきました。最近の医療情勢は厳しく、当院でも病院の老朽化のリスクを抱え「地域住民の生命と健康をまもるため、良質な医療を提供し、みんなに信頼され、愛される病院をめざす。」を基本理念に職員全員頑張っています。

この受章を期に、良質な医療提供ができるように、看護の質向上に努力を重ねてまいります。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 和歌山労災病院 上田 さち子



賞を頂く程の活躍も功績もない私ですが、皆様のおかげで頂くことができ、大変喜んでます。幼い頃に優しい笑顔の看護師にあこがれて、看護師になりました。

夜勤などの変則勤務で、きつい仕事の連続で、「何時辞めようか？」と悩んだこともありましたが、患者様より反対に笑顔をもらい感謝され、この仕事で良かったと続けられました。

幼い頃に夢見た、笑顔の看護師さんにはほど遠い私ですが、心の優しい看護が7対1看護体制が調い、やっとならできるようになってきました。今後ともご指導いただけるように、お願い申し上げます。

### 公立那賀病院 植村 啓子



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄と存じます。

御推薦いただきました皆様から、お礼を申し上げます。

昭和49年に看護の道歩き始めて以来、私生活・仕事上でも困難な時もありましたがめまぐるしく変革する医療・看護の現場で33年間の長きに渡り、看護師を続けてこられたのは、健康に恵まれたこと、家族の協力はもちろんですが、多くの学びを与えてくださった患者様の笑顔や今日まで未熟な私を導き育ててくださった上司、励まし応援してくれた同僚・後輩の皆様のおかげと思ひ、深く感謝いたします。

これからもナース章に恥じないよう、微力ながら私に与えられた役割を果たして参る所存ですので、ご指導・ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ナース章を受章して

和歌山県立南紀高等学校 日下早苗



この度は栄えある和歌山県ナース章をいただき、身に余る光栄と関係各位に深く感謝しています。

職業生活のほとんどを看護教育に従事して参りましたが、章に値する働きができたかは疑問でございます。これまでご指導・ご鞭撻をいただきました多くの皆様のお陰であると思っています。

南紀高校は平成22年3月に卒業生を送り出し、昭和46年からの看護教育の幕を閉じます。

今後は、助産師として微力ながら母子の幸福のために貢献して行きたいと考えています。

御坊保健所 小出栄子



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。

これもひとえに皆様方のお陰と感謝しております。

私は、昭和49年に駐在保健師としてスタートし、先輩保健師の指導や同僚の励ましをいただきながら、地域住民の保健予防活動に取り組んできました。

これからも、健康危機管理をはじめ、社会のニーズに応じた保健師活動をすすめていきたいと思っております。

今回の受章を励みになお一層努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院 里際育子



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄でございます。

これもひとえに先輩あるいは同僚、後輩のみなさまのご尽力、ご支援の賜と深く感謝致します。

昭和47年に和歌山県立高等看護学院保健助産学部を卒業後、助産師、産業保健師、看護師として従事してまいりました。振り返るとその時々自分の役割を一生懸命果たすことが私のとりえだったのではと考えます。

めまぐるしく変化する医療の現場の中で、引き続き将来をみすえた軸のぶれない看護管理者なるべく邁進したいと願っております。今後とも、相変わらずご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

誠佑記念病院 玉置治美



この度、栄えあるナース章を頂き、誠にありがとうございます。

ご推薦をしていただきました関係各位の皆様方に深く感謝を申し上げますと同時に、私をここまで支えてくださいました職場の皆様方に心よりお礼申し上げます。「実践は力なり」と臨床の場で患者様を看護することの喜びと充実感を感じながら、34年余り突き進んでまいりました。授与式で賞の大きさとメダルの重さを感じた時、自分が歩んできたこの道を振り返ることが出来ました。反省することも多くありますが、それを糧として今後も後輩の育成に尽力していきたいと思っております。

和歌山県立高等看護学院 鳴尾悦子



この度は、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。ご推薦をいただきました関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。

昭和50年に和歌山県に就職して以来、そのほとんどを看護教育の場で過ごしてまいりました。これまで続けてこられましたのは素晴らしい上司、先輩、同僚に恵まれ、支えていただいたおかげだと感謝しております。

教育は学生と教員が共に育つことだと信じ、学生の成長と可能性に期待と希望を持ち頑張ってまいりました。これからも、学生との出会いを大切にしながら、看護職の育成に努力したいと思っております。

今後ともご指導よろしくお願い致します。

橋本市地域包括支援センター 水口博子



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄でございます。

私は昭和44年、和歌山赤十字高等看護学院を卒業し、その後臨床、看護教育、臨床、市役所(高齢者福祉)、現在は地域包括支援センターで医療と看護と福祉の連携の重要性を感じながら働いています。看護のすばらしさはもちろん、それぞれの職場で成長させていただいたことを感謝しています。

長年、辞めることなく勤め続けることが出来たことは先輩、同僚、後輩の皆様のご指導とご協力のおかげと感謝申し上げます。3月には定年退職の日を迎えますが、働く喜びを感じながら今日の日を迎えられた事は健康に恵まれ、家族の協力もあったからこそと思っています。今後はこの経験を生かして、地域社会に貢献したいと思っています。

和歌山生協病院 宮井保美



「看護師になれてよかった。続けてこられて本当によかった」ナース章をいただき、心から感謝しております。『いつでも どこでもだれもが安心してよい医療と福祉を』医療生協の理念に共感し、40余年がたちます。その間和歌山病院建設にも参加させていただきました。患者さまからは、語り尽くせぬ多くのことを学び、職場の仲間達や、周りの方々に励まされ、支えていただきました。ありがとうございました。

いま深刻な看護師不足が日本列島を駆け巡っています。後輩達が、「看護」にやりがいを感じ、働き続けられ、安心・安全の行き届いた看護が提供できるように、看護師増員を求める運動をもっともっと広げなくてはと決意を新たにしています。

## おめでとうございます

平成19年度 春の褒章・叙勲 瑞光単光章

和歌山労災病院 近藤利美

第36回 医療功労賞

古座川町役場 羽山敬子

# トピックス 2008

## 認知症の 最近の治療について

和歌山県立医科大学医学部精神医学教室

奥村匡敏 篠崎和弘

認知症の4割がアルツハイマー病ADで、血管性認知症、レビー小体病が各2割である。塩酸ドネペジル(コリンエステラーゼ阻害薬)はアセチルコリン系を賦活してAD群の進行を遅らすが、軽度・中等度ADだけでなく高度ADにも平成19年より適応が認可された。ADの基本的病態は老人斑と神経原線維変化であり、前者を阻止するセクレターゼ阻害薬やワクチンが開発中である。

認知症では記憶力と判断力の障害(中核症状)に加えてうつ、せん妄、妄想など(周辺症状)が時に出現し介護者の負担となる。安易な対症的薬物療法は副作用があるので、まず身体疾患の治療、併用薬の検討、家族との情緒的関係などを調整のち、対症治療を行う。たとえばうつには抗うつ薬(SSRI)、せん妄には鎮静効果のある抗うつ薬(トラゾドン、ミアンセリン)、焦燥・攻撃性には気分安定薬(バルプロ酸)や抑肝散が、攻撃性や幻覚・妄想には非定型抗精神病薬が選択される。回想療法、音楽療法などの非薬物療法や、介護者に対する支援なども重要である。

疫学研究によれば肥満、脳血管障害、心疾患、高血圧、糖尿病、高脂血症など生活習慣病がADの危険因子である。血管の老化を避けることがADの予防になる。

## 認知症看護について

和歌山県立こころの医療センター

松下直子

認知症と呼称変更されてまもなく3年目となります。認知症については映画になったりテレビや新聞でとりあげられたりとかかなり知られるようになりました。

当センターの認知症の病棟は開設して7年目となります。個別的な関わり(そのひとらしさ)を大切にADLの維持を目的として関わっています。

午前中は清潔ケアが主となり、午後はレクリエーションを行っています。

清潔ケアでは機械的にならないように注意し、その人のADLを把握し、患者様のペースに合わせ、ゆったりと関わるようにしています。レクリエーションは作業療法士を中心に患者様が楽しんで参加できるように工夫しています。季節感のあるものや昔なつかしいものを取りあげ、患者様と共に楽しいひとときを大切にしながら、機能低下を防ぐようにスタッフ一同で取り組んでいます。家族やDr、ケースワーカーと連携して家庭や施設へ戻れるようにひとつの通過点としての役割を果たしていきたいと思っています。

## 〜〜東洋羽毛のサービス〜〜

- リフォーム …… 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。
- 補修・お直し …… 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
- クリーニング …… 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
- 特別注文 …… 製造メーカーなので、ご希望のサイズのお布団を作れます



**※お布団の事なら、何でもご相談下さい。**

社団法人 和歌山県看護協会 推薦

**東洋羽毛工業(株)大阪営業所**

和歌山店 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F  
フリーダイヤル 0120-32-7766

※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました

大阪店 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13  
フリーダイヤル 0120-88-2104



ホームページアドレス  
<http://www.toyoumo.co.jp>

## 保健師のコナー

保健師職能委員 玉置澄子

早いもので、保健師職能委員の役を受けて2年目になります。職場は、度重なる行政改革で目まぐるしく変化し、協会に入会しているのが私一人でした。そんな中で役を受けて、大丈夫かな?と思いながら、異動で5人、翌年7人と増え、今は委員会の伝達など出来るのが心強く嬉しいです。

昨年度は、神戸市の「人と防災未来センター」を視察研修し、現在、「災害発生時の保健活動マニュアル」を策定中です。担当業務が感染症関係のため、日頃からノロウイルスやO-157、HIV感染に関する正しい知識の普及と予防に取り組んでいます。ことが起こってから騒ぐのではなく、どちらも日頃の業務の積み重ねや関係が大事になります。

3世代夫婦の同居生活で、3人の子供達は夫の父母のおかげで無事成人し、子育ては一応一段落です。姑が孫守りや近所付き合いをしてくれたため、現在の生活があると感謝しています。同居の老人を見送ることで、子供達は命の大切さや人間関係を学んでくれたと思います。

今年度は「医療制度改革における保健活動」がテーマです。また、来年度から特定保健指導が開始されます。生活習慣病予防、メタボ対策の取り組みはこれからです。災害時の活動、生活習慣病予防、感染症予防、人間関係等いずれも日頃の地道な積み重ねがあればこそ、と思います。これからも前向きに取り組みたいです。

## 助産師のコナー

助産師職能委員 芝峰利美



平成18年度より助産師職能委員会の活動に参加させて頂いています。最初は、助産師職能委員会の活動について、何も分からなかったのが戸惑いましたが、他の委員の方に引っ張ってもらいながら、いろいろ勉強させていただきました。

そして昨年度は、高校生対象の思春期指導や、看護フォーラムでの町の保健室などに参加して貴重な経験もさせて頂きました。

本年度は「虐待」「思春期指導」「院内助産」をテーマに活動をしています。現在、実際に「院内助産」を行われている委員の方がおられ、「院内助産」の現状やたいへんさなど色々なお話を聞くことができ、とてもよい勉強になっています。

助産師外来や院内助産などを実際に行なう為には、豊富な知識や経験があっても大変なことだと思いますが、産科医の不足が指摘され産科施設の閉鎖などが問題となっている今、助産師の質の向上をはかり自立した働きをすることが求められていると思います。

経験も少なく、まだまだ勉強しなければいけないことばかりですが、がんばっていききたいと思います。

## 看護師のコナー

看護師職能委員 畑中優子

新しい年を迎え、看護師職能委員二年目の私にとっての活動期間は、残り数ヶ月となりました。

十数年前に職能委員をさせて頂いた時は、メンバーの中では一番年下でしたが、今回は年長組で、活動内容も前回とは少しずつ変化していて、時代の流れを感じています。

現在、委員会では、看護師確保・定着に向けた活動の一環として、〔看護職の子育て対策の実態調査〕を行なっています。皆様方にご協力を頂いて、アンケート調査を実施。それを集計・分析し実態を把握。その結果をまとめ、看護協会に報告致します。この活動が、働きながらの子育てに悩んでいる、多くの仲間の離職を、少しでもくい止めるための足がかりにつながればと、峰平委員長はじめ、委員全員願っております。

看護師職能委員としての任期を終えた後も、和歌山県看護協会の一員として自覚を持ち、協会活動に参加していきたいと思っています。

# 私の○○

## 私の癒される場所

琴の浦リハビリテーションセンター 富永香浪



私は職場と家を往復する毎日や忙しい業務に疲れたとき、癒しを求めて海へと出かけ、スキューバダイビングを楽しみます。

海の中には魚はもちろんのこと、陸上では決して見ることでできない生物や色とりどりの景色が広がっています。私が海の中で遭遇した生物の中には、海底の砂地で一生懸命に砂をかき出して穴を掘っているエビや、水草にそっくりなカニ等がいました。そしてそれらは、その姿に不思議さと、その仕草に可愛さを感じさせてくれ、見ているだけで私に癒しを与えてくれるのです。また、陸に上がれば静かな波の音と海風が心地良く、忙しい日々を忘れさせてくれます。そんな海は私にとって、心身ともに癒される最高の場所なのです。



## リレーエッセイ ★ 友達の輪 ★

NO.23

「私の休日の過ごし方・リフレッシュ方法」



橋本市民病院 駒井郁子

今までは友人と映画やショッピングなどでストレス発散していたのですが、去年から黒子ツワの♯を飼い始めたので最近は彼と過ごすことがほとんどです。といっても普段は仕事の為、世話は全て母の役目。私はというと『たまに遊んでくれる人』としか認識されていないようですがなついてくれています。そんな彼と散歩やドッグランで走り回ったり、一緒に昼寝をしたり…。可愛い仕草に日頃の疲れやストレスを癒してもらっています。

(次回は、済生会和歌山病院 川崎伸造さんです)

## My Hospital

海南市民病院



海南市民病院は昭和14年海南市立診療所として開設され、海南海草地域医療の中で68年の歴史を刻んでまいりました。当初一般病床5床でしたが、地域住民の医療ニーズと医療行政の変遷に伴い増床と減床を繰り返し、現在は137床の地域中核病院として海南市の中心部に位置しています。

和歌山県下における自治体病院の中では唯一建て替えられていない古い病院ですが、小児科待合室をプレイルーム風に改装をしたり、地場産業である紀州漆器「黒江塗り」を患者給食の食器に取り入れるなど、地域住民に信頼される病院、愛される病院を目標に職員一丸となって病院改善に取り組んでいます。

看護部の特徴として、日本看護協会のモデル事業「まちの保健室」(平成14年)に応募し「健康日本21」をテーマに1年間モデル事業を展開しました。其の活動を基盤としてすでに5年になりますが、JR海南駅構内で「まちの保健室」を毎週1回金曜日に開催しています。「まちの保健室」は、地域住民の方々とふれあいを通して、住民の健康ニーズを把握し健康増進を図ることが目的ですが、継続は「金」なりで、すっかり海南駅の風景として定着しました。この活動はライフパートナーとしての看護職、そしてなにより地域に開かれた病院作りの一環として継続して行きたいと考えています。



● 場所：海南駅構内 ●  
第1から第4金曜日の15時から17時まで  
健康測定(血圧・体脂肪・骨密度)健康相談を  
無料で行っています。

第1(金)	海南市民病院 看護部	海南市民病院 助産科 管理栄養士	家庭看護や介護のこと など気軽に相談して ください。	
第2(金)	海南市民病院 看護部	海南市民病院 管理 栄養士	管理栄養士による栄養相談 を行います。 日頃の食生活について 気軽に相談してください。	
第3(金)	海南市民病院 看護部	海南薬師会 薬剤師	薬や栄養補助食品の ことなど気軽に相談 してください。	
第4(金)	海南市民病院 看護部	海南市役所 保健師	保健師による健康相談を 行っています。 視診・手動操縦・子育て・ 介護保険など気軽に相談 してください。	

● 都合により予定を変更する場合があります ●  
主催：つれもていこら「まちの保健室」海南市民病院 看護部

# 第38回日本看護学会

# ～看護管理～学術集会

## 「学術集会を終えて」

準備委員長 鈴木幸子



学術集会を、10月25日・26日に「看護、更なる挑戦ー育ちあう看護管理」をメインテーマとして、県民文化会館・アバローム紀の国を会場に開催しました。おかげさまで、参加者も連日2,000名以上におよび、2日間にわたる学術集会を盛会のうちに無事終えることができました。これも皆様のご協力の賜物と感謝しております。

特別講演は、智辯学園和歌山高等学校の高嶋仁野球部監督に、「個の力をチーム力に」というテーマでお話しいただきました。生徒個々の力をいかに引き出し甲子園で戦えるチームに育てていくのか、豊富な経験を踏まえた内容は看護管理に通じるものが多く示唆に富むものでした。

水口艶子徳島赤十字病院副院長兼看護部長による教育講演は「新人看護師の育成」をテーマに、看護師臨床研修制度の経験よりこれからの看護を担う新人看護師をいかに育てるべきか、人材育成の風土づくりや指導者のあり様など実践例を具体的に示していただきました。



シンポジウム「看護職の経営参画」では、現状や取り組むべき課題が討議され、看護職も経営に対してミッションをもち、モチベーションを高めていくことの必要性が改めて認識されました。



一般演題は352題の研究発表が行われました。収容人数の少ない会場では直ぐに満席となってしまう、参加者の皆様にはご不便をお掛けいたしました。立ち見でも是非発表を聞きたいという参加者の熱意には頭が下がる思いです。どの会場でも活発な意見交換が行われ、発表者はもとより参加者の皆様がより一層知見を広め、さらに看護を発展させられる活力を得る機会になったことと確信しております。

第1群研究発表

第1群研究発表



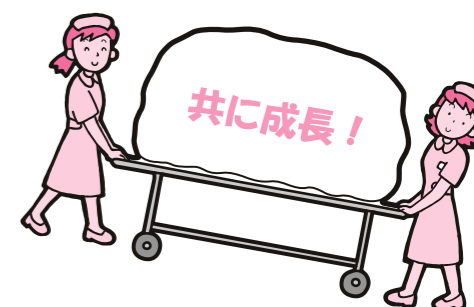
## 10月25日



高嶋 仁 氏

### 「個の力をチーム力に」

"やる気のある人間に育てる"  
 そのためにはくやしいと思わせることが活力になる!  
 ◎好調な時に不調な事を教える  
 ◎自信を持つほど謙虚な姿勢で!



### 内服薬管理に関する看護現場の調査報告

(発表を終えて...)  
 質問がひっきりなしにあり、どこの病院でも問題になっているんだと実感しました。いろいろな人の意見を聞けてとても参考になりました。



青森県弘前大学医学部附属病院  
 村上 亜希 さん

## 10月26日



水口 艶子 氏

### 「新人看護師の育成」

病院の理念 大切なこと  
 ◎わかりやすい理念であること  
 ◎毎日の行動の中に理念が入りこんでいること  
 ◎理念が行動化していること  
 困ったとき、評価時は必ず理念にかえるべき  
 「私たちは何のために今、行動しているのか」

# 和歌山県看護協会の動き

## 運営に関する会議

平成19年度 第5回理事会

開催日時 平成19年11月6日(火) 13:30~18:00

内容

### 1. 報告事項

#### 1) 地区別法人会報告

- ①看護職確保定着推進事業の今後の進め方について
- ②看護基礎教育のカリキュラム改正と本会の考え方
- ③看護師養成所2年課程通信制学生に対する奨学金制度について
- ④生活習慣病予防活動に関連した各都道府県看護協会の取組に関する調査結果
- ⑤災害支援ナースの派遣時の身分保障について
- ⑥公益法人制度改革について

#### 2) 地区別法人会協議事項

- ①ナースセンター事業のあり方
- ②看護職員確保定着促進事業について
- ③本会へ各都道府県看護協会からの提案・要望事項について
- ④日本看護協会のこれからのあり方について

#### 3) 法人会会員情報交換・近畿地区法人会員間での情報交換をする

- ①ナースセンター事業について
- ②災害支援ナースについて現状
- ③リスクマネージャー交流会の開催について
- ④保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正の概要
- ⑤平成19年度保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)の実施

#### 4) 地区別職能委員長会議の報告

#### 5) 和歌山県看護協会上半期事業実施状況報告

#### 6) 上半期決算経過報告と監査報告 以上承認される。

### 2. 協議事項

#### 1) 看護研修センター建設について

土地取得と建設に要する資金計画と預託金返済計画について会員の理解が得られないと困難な事業である。保健師職能では、資金や返済、建物の維持管理も含め不安があり、看護研修センターは保健師にとってメリットが少ない等慎重に検討する意見が多い。看護職の資質向上を図るために必要なことである。各理事から推進・慎重論等意見があり、提出している資料について、返済に関する具体的な資料を示さないと会員の理解が得られない等の意見から資金計画と返済に関して再度建設推進委員会を検討することにする。今後の方向性について12月に臨時理事会を開催し検討する。以上の結果から継続審議となった。

## 新看護研修センターに関する臨時理事会

開催日時 平成19年12月13日(木) 13:00~16:00

内容

### 1. 協議事項

#### 1) 事務長より、建設推進委員会の資料に基づき、資金計画とその返済について説明

土地の購入について、全会員の協力がないと困難である。19年度総会資料を踏まえて、5,744人×23,000円(預託金)合計132,112,000円となる。

## 預託金制度の概要について(紙面の都合上、詳細については地区別会議で資料提出)

### 新看護研修センター建設資金計画

第一期預託金	土地購入費に充当
	会員1人 23,000円
第二期預託金	土地購入後建物の建設資金に充当
	会員1人 年間20,000円 3年間継続して

### 預託

#### 預託金返済について(無利子扱い)

- 第一期預託金について原則として会員の間では変換しない。
1. 退職等で会員でなくなった方については、第二期預託期間終了後、3ヵ年据え置いたのち全額返還する。(ただし、死亡会員には、順次変換する。)
2. 脱会された方も、第二期預託期間終了後、3ヵ年据え置いたのち全額返還する。

いたのち全額返還する。

#### 第二期預託金について

1. 退職及び脱会された方には、第二期預託期間終了後、3ヵ年据え置いたのち順次変換する。(ただし、死亡会員については、その都度変換する。)
2. 現会員については、第二期預託期間終了後、5ヵ年据え置いたのち13年計画で変換していく。(原則として年齢の高い会員から変換していく。)

#### 2) 資料に基づき全理事の意見を聞く

保健師職能委員長より保健師職能委員会の意見取りまとめた結果について報告  
結論として、19年度総会に提案した内容について再検討された。

他の地区理事より、①次のステップに進めていく。できれば銀行借り入れなしで済む方法を検討する。預託より寄付の方が良いのか。100%の会員の賛同は困難ではないか、何%の賛同で進めるかである②総会決議に従って進める。しかし、大きい病院では、まとまりやすいが小さい施設・個人会員を纏めることは困難③提示された資料に基づき進めていく。資金集めには早く方向性を示す必要がある。④公的な病院ですべてに準備している病院もある。個人病院では難しい点もあるが、この案で進めていく。⑤全ての施設ではないが、施設会員代表者が反対しているため、職員も反対である。このままでは、100人の脱会者がでる可能性も考えられる。⑥少し急ぎ過ぎではないか、5年経過ですすめても良いのでは。脱会者を最小限にしたいが、新入会員には、入会金と会費と預託金が払えるのが心配。現研修センターの改修費ももったいない。⑦早くこの案を進めることに賛成している。⑧この案ですすめて良いが銀行からの借り入れのないように⑦大切な会議なのに欠席者が最期まで出席できない方もいて残念。地区理事は各地区の会員がどれだけ浸透しているのか把握する責任がある。これで進められるのか⑧今の意見を聞いていくと、会員が預託して資金が集まるの心配である。建設推進委員会では、あくまでも全会員が預託することを想定している。等監事からの意見が出された。他の理事より現研修センターの改修について、この研修センターを現在使用するためにやむを得ず修繕したもので、個人の家でも明日住めなくなるなら今日、修繕する。空調やトイレの故障、雨漏り等の修繕は会費の浪費とは思わないという意見あり。助産師職能・看護師職能理事より書面で意見提出があった。看護師職能として、看護協会、研修センターは看護職能団体としての責務と役割を果たす上で、その活動の拠点となる、これからの医療・看護の質向上のために重要である。教育においても会員のキャリアアップのためだけに研修を受けているのではなく、その成果を看護実践活動に役立っているという事実がある。委員会では、看護研修センターの必要性は十分理解できており、全員計画に賛成である。

助産師職能委員会では、年次計画を再考し、会員の理解を得るために経過説明が必要。預託金制度について理解が得られないのでは。研修への参加費を高くして、積み立てるなどの資金集めを考える。各施設によってナースの経済事情が異なるので、納入が困難ではないか。他の施設の利用はできないか等の意見が提出された。

会長としては、みんなが心をつけないとこの事業を進めることは困難である。どうすれば、脱会を少なくし資金の調達ができるのか。このまま進めるのか、今後どうするのか、各会員が自分達のこととして認識できるにはどうすれば良いのか考えてもらいたい。

議論の結果、各理事が持ち帰り、地区支部で会員の意見を聞き検討した結果で20年度通常総会に諮ることになり継続審議となった。

2. 理事会に対して推薦委員から常任理事の推薦に関する要請書が提出され、理事会に諮る。
3. みんなが安心できる医療環境を共に考える和歌山県民集会への参加について  
～映画「シッコ (sicko=病気)」鑑賞会～

## 会員の皆さまへのお知らせ

### ●新看護研修センターの建設について

18年度総会決議を踏まえ、預託金制度を導入した場合の資金の確保と返済計画について、具体的な資料に基づき、各地区支部において検討してもらっています。臨時理事会報告を参照ください。この事業は会員全員の協力なしには実現できないため、会員の皆さまの積極的なご協力をお願いします。

### ●平成20年4月からの診療報酬の改定説明会のご案内

日本看護協会は、47都道府県全てを対象に衛星放送による説明会を開催します。本会でも、日本看護協会からの配信を受けて下記のとおり説明会を開催します。参加者の募集については、委託業者よりご案内します。

開催日時 平成20年3月26日(水)

13:30~16:30

開催場所 看護研修センター

### ●平成19年度和歌山県看護研究会参加者募集について

会報「黒潮」第101号でもご案内していますが、下記のとおり和歌山県看護研究会を開催します。現在参加者募集中です。多くの会員の参加を期待しております。

開催日時 平成20年3月8日(土)

受付 9:10

開催場所 和歌山県民文化会館

参加費 会員 3,000円

非会員 4,000円

メインテーマ「気づき、発見、わたしと看護」

特別講演：テーマ「やる気のでる看護研究」

講師 尾崎フサ子 先生

新潟大学医学部保健学科教授

教育講演：テーマ「全てはベッドサイドにある」

講師 北村 愛子 先生

りんくう総合医療センター

急性・重症患者看護専門看護師